

韓国の公園緑地事情

～スマートパークとコロナ禍の公園利用～

近年、韓国では、公園の管理運営において、ARを使用したコンテンツを提供するなど、最新のITを導入しています。
今回は、韓国のスマートパーク管理事情及び、コロナ禍における公園管理運営、公園利用状況を知り、日本における公園管理運営の一助といたします。
また、2021年5月に予定しているWorld Urban Parksジャパンの周年事業についてもご紹介いたします。

2021.1.20 wed

13:30～16:30

オンラインにて開催

先着 80名/要申込

一般 1,000円

※一般は、申し込み時にイベントペイ
システム利用料220円/名がかかります

会員 無料*

*WUPジャパン会員
公園財団賛助会員

造園CPD
認定プログラム
2.8単位

講演内容紹介



13:45～15:15

「持続可能なスマート・グリーンシティ実現のためのスマートパーク造成・管理戦略」

逐次通訳

建築空間研究院 スマート・みどり研究団

副研究委員 キム・ヨングック (Kim Yong-gook)

韓国の社会におけるビッグデータを活用した公園管理運営の実態などをご紹介いただくと共に、
韓国の公園で実施されている、AIを用いた取り組みをしているスマートパークについて紹介いただきます。



15:25～16:05

「ウィズコロナ時代の韓国の公園の使い方」 逐次通訳

ソウルグリーントラスト ソウルの森コンサーバンシー マーケティング部署

マネージャー パク・ヤンミ (Park Yang Mi)

コロナ禍において韓国で行われている公園管理運営や公園利用の変化などを紹介いただきます。

《申込方法》

下記のページへアクセスし、
お申し込みください。
<https://www.prjf.or.jp/wupj/>

《お問合せ》

公園財団 公園管理運営研究所 (高橋・大竹)
TEL: 03-6674-1188 FAX: 03-6674-1190
Email: staff-midori@prjf.or.jp

主催: WUPジャパン

(一財)公園財団

後援: (一社)日本公園緑地協会

(一社)公園管理運営士会

令和2年度 海外情報講演会 韓国の公園緑地事情 ～スマートパークとコロナ禍の公園利用～

日時：2021年1月20日(水) 13:30～16:30 (オンライン)

参加方法：公園財団HPの<https://www.prfj.or.jp/wupj/>よりお申し込みください。WUPJ会員及び賛助会員（無料）の方は専用フォームでのお申込みとなります。一般申込み（有料）の方はイベントナビを通してのお申込みとなり、システム利用料が別途220円/名かかります。

※当日は参加者専用のID/パスコードでZoom配信をご視聴いただけます。

《 注意事項 》

- ・インターネットからのお申込みのみ受け付けております。お電話でのお申し込みは承っておりませんので、予めご了承ください。
- ・配信内容の録画/録音はご遠慮ください。
- ・通信の不具合等で参加できない場合でも返金はできませんので、予めご了承ください。
- ・一度お振込等いただいた参加費は、返金できませんので予めご了承ください。
- ・申込みされた方が参加できない場合、代理の方がご出席いただいても結構です。あらかじめ事務局までご連絡ください。

プログラム

13:30 開会

13:35 WUPジャパンより情報提供（10分）

13:45 **講演「持続可能なスマート・グリーンシティ実現のためのスマートパーク造成・管理戦略」**
（80分講演・10分質疑応答）逐次通訳

発表者：建築空間研究院 キム・ヨングック (Kim Yong-gook)

15:15 休憩（10分）

15:25 **講演「ウィズコロナ時代の韓国の公園の使い方」**（40分講演・10分質疑応答）逐次通訳

発表者：ソウルグリーントラスト パク・ヤンミ (Park Yang Mi)

《 講演者紹介 》

《 建築空間研究院 / キム・ヨングック 》

建築空間研究院は、国民の幸福と品格ある建築都市文化を創造するため、大統領の指示により設立された韓国初の建築都市空間分野の国策研究機関です。キム氏が所属しているスマート・みどり研究団では、都市と人間の持続可能性を担保するためのスマート都市政策、みどり建築、変動する気候への対応戦略等に関する研究を行っています。今回の講演会では、韓国のスマートパークの事例をご紹介します。

《 ソウルグリーントラスト / パク・ヤンミ 》

ソウルグリーントラストは、ソウル市内の生活圏の緑地を市民参加によって保全拡大し、快適な都市環境を造成している非営利財団法人です。

ソウルグリーントラストが発足した年の2003年5月、韓国初で市民から資金を集めて、木を植えて、ソウルの森公園づくりに参加することで、市民参加型公園造成事例を実現しました。

現在は、ソウルの森公園を運営しており、市民や企業とのボランティア活動を通じた都市森と都市公園づくりを行い、公園における市民参加活動に関する講演会を実施するなど、都市公園の利用についての普及啓発と都市の緑の価値を高める様々な活動を続けています。